

5・6年生 エコ・トレード活動 社会

クラスのみならず、エコスタンプを集めると活動資金と交換してもらえます。

子どもたちに、身近なエコ活動が、経済や、地球環境の保全ともつながっていることを理解してもらうための活動です。活動資金は環境保全にとどまらず、福祉、人権、国際交流など社会的意義のある活動費として使えます。

クラス人数×7
エコスタンプ
集める

500円の資金

クラスごとに集めたエコスタンプを、環境、福祉、人権、国際交流など社会的意義のある活動費として使えます。

資金提供：(社)西宮青年会議所 エコ・トレード基金事務局

PTA・行政・事業者などと連携した学校における環境学習推進

PTA・学校活動実績

- ・学年PTA 27件
- ・小学校 55件
- ・中学校 10件

平成14年度環境省委託事業
体験的環境学習推進事業

小学校6年間の環境学習プログラム

委託者：西宮市
実施：地域に根ざした環境教育を推進する西宮プロジェクト

事業目的

子どもたち ↔ 自然との触れ合い 多様な人々・価値観との出会い → 環境問題 持続可能性 (社会的問題認識)

自然体験・生活体験・社会体験を基本とした体系的・継続的な環境学習活動

↓

各種支援システム(しくみ)の構築

小学校6年間を単位とした学習カリキュラムづくり

環境や社会に対する、子どもの興味関心の深まり

様々な主体が協働・連携していくためには・

コーディネーター

場づくり・時間づくり

共通理解

情報共有

コーディネーターの役割

共通理解・情報共有ができた場合に子どもたちの活動を支援する様々な主体が集まる。各主体をつなぎ、共通理解・情報共有を促すのは、コーディネーターの役割である。